

CLOSE TO YOU

-ニュースレター版-
2018年6・7・8月号/No.22

主の御名を賛美します。

巷では「平成最後の夏」と騒がれている今夏ですが、中国地方での豪雨や今までに体験したことのない猛暑（名古屋では40℃を観測しました）、関西での台風被害、そして北海道胆振地区での大きな地震…と各地で次々と自然災害に見舞われる夏となりました。

私の実家・苫小牧市は胆振地区に位置し、震度5強の揺れを観測しました。幸いにも家族、祖父母一家、また思いつく限りの友人・知人には連絡をとることができ、無事を確認することができました。しかし、このニュースレターを執筆している今も停電が続いており、あらゆる物資が途絶え、現地にいるひとりひとりのことを思うと、どんなに心細い生活を強いられているのか…と胸が締め付けられる思いです。（9月21日現在は停電が解消されています）

また、苫小牧市に隣接する厚真町では今もなお安否のわからない方々の救助活動が続けられています。尊い命が救われるように…これ以上被害が拡大しないことを願いつつ…1日でも早くストレスのない快適な生活を送ることができるようにと祈っています。

さて、私の近況としては…先日車で山形まで行ってきました。



◀山形では、TCU時代の同級生（夫婦）が牧会しています。一度訪ねてみたいと思っていたので、今回実現できて本当に嬉しかったです^^わずかな滞在でしたが、山形名物・玉こんに食べることができて満足です。おいしかった～

名古屋から山形までは630km…12時間かかりましたが、その時間をかけてでも会いに行った価値があったと…帰ってきてから改めて思いました。そう思える友人に出会うことができ、本当に感謝しています。

2018年も残り4ヶ月ほどになりましたが…すべてのことに感謝しつつ、1日1日を大切に生きていきたいと思ひます。

-6月の主なはたらき-

- 6/3 ユースセミナー（hi-b.a.東海/丸山告師） ☆
 - 6/7 性のセミナー（水谷潔師） ☆
 - 6/10 ポップコーンパーティー ☆
 - 6/18 ユース礼拝メッセージ
 - 6/28 異性理解のセミナー（水谷潔師） ☆
- ☆印のみ報告します。

2月にwatotoの25名の子どもたちを受け入れてから…今年は私たちの教会にたくさんのゲストが足を運んでくださっています。

6月3日には、hi.b-a.東海（高校生聖書伝道協会）スタッフ・丸山告師をお招きしてのユースセミナーがありました。



◀丸山師にはユース礼拝と一般礼拝でメッセージも語っていただきました。一般礼拝では使徒9:26-31の箇所から劇的に改心を遂げたパウロをバルナバが励ましたことで人々に受け入れられていったことを学びました。



◀お昼はうどんに好きな具材をかけて食べる「うどんバイキング」でした。私は辛いものが大好きなので、できる限り辛くしておいしくうどんをいただきました。こちらは具材待ちの素敵なお姉さま方。



◀午後からはユースセミナー。セミナーの前に「高校生伝道クイズ」というものをやりました。今の高校生が日常的に使っている言葉を大人の私たちがどれだけ理解できるか…!?今回は私も苦戦しました；

一般礼拝のメッセージや「高校生伝道クイズ」をやってみる中で、今の高校生たちがどんな目線で物事をみているか、私たちにどんな姿勢が求められるのか？ということを知ることができました。

私は教会の中でも「若い」部類に入ると思いますが、それでも高校生や中学生との間にギャップを感じることがあります。（何せ高校生だったのは10年前の話ですから…）
written by manyamo

ギャップを感じる中でそれでも大事にしていきたいと私が思ったのは、「話を聞くこと」だと思いました。

「おニャン子クラブ」や「AKB48」などをプロデュースしてきた秋元康は「今も昔もツールが違うだけで、人の感性は変わらない。」と言います。確かに私も今回の高校生伝道クイズを解いてみて「絶起、スタ爆、MJK…意味がわからない」となりました。(2年前は40点/50点だったのに…笑)しかし「だから今の高校生が感じていることはわからないんだ」と諦めるのではなく、理解に至る情報が足りないだけで、感じている気持ちは時代を経てもなお、私たちと何ら変わらないのでは…と思います。(聖書を読んでいてもそうですよね)

自分の価値観や型を押し付けるのではなく、歩み寄って行く姿勢がいちばん大事だと思わされたセミナーでした。

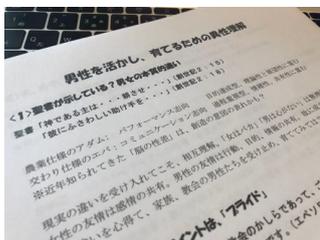
6月7日と28日にはいのち・性・結婚・子育てなどの分野において全国で講演活動をされている、水谷潔師をお招きしてセミナーを行いました。



◀6月7日は「男の子の性について考える」というテーマでのセミナーでした。私たちの教会には男の子がたくさんいるので…聖書的な価値観から、男の子にどう関わって行くか?を学びました。



◀セミナー後は昼食を囲んでディスカッションタイム。セミナーの時間よりもざっくばらんに様々な意見を交換しました。私は隅で聞いていてこの時間の会話が一番面白かったです。笑



◀6月28日は「異性を活かし、育てるための異性理解」というテーマでのセミナーが、カンガルークラブ(子育てサークル)のママたち対象で行われました。私も今後のためにたくさん勉強させてもらいました…。(笑)

私も水谷先生の著書はいつも参考にさせていただいています。

私が今回のセミナーを通して学んだのは、「結婚は自立した者同士に与えられている特権である」ということでした。「自立」と聞くと私は「経済的にも実質的にも親と離れて暮らすこと」と思っていたのですが、それだけではなく「心理的な自立」も大事な

要素だと知りました。

現代の問題として、異様に親と密着してしまっている「母子密着」「親ラブ族」が存在するそうです。結果、そういう人と結婚すると結婚生活はとて大変だとか…。「親子の関係が良い」「親と仲がいい」というのはとても良いことのように思えていたのですが(今でも親との関係が良いことは良いことだと思っています)、そういう見極めも必要だと学びました。(笑)

そして、6月10日には6月のイベント・ポップコーンパーティーが行われました!



◀「となかいかかと」というポーズじゃんけん。となかいかかと、とまと、しんぶんしの3つのポーズでトナカイと被ったら負け。このポーズたち、実は全部回文になっているのに気付きましたか?笑



◀この日も兄からヨハネ8:32「真理はあなたがたを自由にします。」の箇所からメッセージが語られました。自由とは何か?それは罪から解放されること、イエス様の十字架であると学びました。



◀ポップコーンパーティーということで今回もたくさんのポップコーンが並びました。私の中でのヒットはシナモン味のポップコーン!! おかわりしようと思ったらもうなくなっていました…残念。(涙)

この日のテーマは「弾ける(=ポップコーン)」。

「弾けるってどういうことかなー?」とユースやJキッズのおともだちと色々話し合いながら賛美の曲やゲームを考えました。やはり「喜び」というイメージですが、それを通り越して「爆発」という意見も出てきて面白かったです。(JESUS FAMILYの賛美に「爆発寸前」という曲があり、それをこの日歌いました。笑)



大人も含めて30名の方が集いました。



written by manyamo

-7月の主なはたらき-

- 7/1 ユース礼拝メッセージ
- 7/7-16 TCU夏期伝道チーム来会 ☆
- 7/16 オープンチャーチ ☆

7月7日から16日までの10日間、私の母校でもある東京基督教大学（以下、TCU）から6名の大学生たちが、夏期伝道チームとして私たちの教会に派遣されました！



◀夏期伝道チームとは…TCUが毎年夏休みに派遣している伝道チームです。学生を受け入れてくれる教会を全国から募集し、有志の学生で伝道チームを結成して10日間日本各地の教会に派遣されます。

実は私たちの教会には、20代の青年が私一人しかいません…。私自身も同世代の信仰の仲間が教会に与えられるように祈ってきましたが、それだけではなく「下の世代の子たちにもっとたくさんの青年クリスチャンを知って欲しい」という思いもありました。今回は10日間という期間限定ではありましたが…思わぬ形でその祈りが応えられ、本当に感謝しています。



◀派遣先の教会で奉仕を捧げることも大きな恵みですが、夏期伝道の魅力のひとつに観光があります^^この日は商店街のど真ん中にある名古屋福音伝道教会の保浦先生に案内をお願いして、大須観光に行きました。



◀いつもは一週間のほとんどを一人で過ごしていますが、夏期伝道期間中は私も食事の輪に入れさせてもらいました^^この日は暑い中チラン配りをしましたが、仲間がいたからこそめげずに頑張ることができました。



◀夏期伝道のもうひとつの魅力…それは交わりです。この日は男子はH夫妻のお宅に、女子はH夫妻のお宅にホームステイ。救いの証しや将来のビジョンなどを分かち合う良い時間でした。



◀夏期伝道期間中のカンガルークラブ（子育てサークル）は、プールを出して盛大に水遊びを…。たくさんのお兄さんとお姉さんたちの登場にみんな大喜びでした^^

そんな夏期伝道チームの派遣期間最終日は、なんとオープンチャーチ！！



◀今年は初の試みとして前夜祭を開催し、夕食は外でBBQ♪夜は教会に泊まって翌日のオープンチャーチに向けて一緒に準備をしました。噂によると夜な夜なW杯を応援した人もいたとか…。(笑)



◀今年のオープンチャーチは夏期伝道チームが引っ張ってくれました^^これは筋トレ（サブマリン）というゲーム。司会者の指示通り動けなかったら負けです。あれ？ひとり偉そうな人が…。(笑)



◀「本場の人形劇が見たい！」という声もあり、今回は夏期伝道チームに人形劇をお願いしました。ルカ10章の「良きサマリア人」の話から、身近にいるどんな人をも愛することを学びました。



◀お昼は今年もたくさんの出店がありましたが、中でも根強い人気を誇っていたのがこのカレー。夏期伝道チームのラディカ（ネパール出身）作・本場ネパールカレーです。本当においしかった😋



◀午後からはステージタイム！久しぶりにマリオも登場し、会場が湧きました。(笑) はじめお兄さんと対決するストラックアウト、カルピス早飲み対決も大盛り上がり！！



◀締めはウォーターバトル！！別れの寂しさに浸る余裕もなく、夏期伝道チームのみんなに盛大にずぶ濡れになってもらって終わりました…。笑（なぜか私もずぶ濡れに😅）

「この教会に青年世代が集まるとどうなるのか？」ということ、今回神様が実際に見せてくれたことで、もっと具体的に祈ることを示されました。この祈りがどんな形で応えられていくのか…これから楽しみです◎

また、オープンチャーチには今年もたくさんの方が来てくださり、全体で103名の参加でした！中には「毎月オープンチャーチをやって欲しい」という声も…。(笑) “地域に根ざす教会”を目指して、これからも福音の種を蒔き続けていきたいと願っています。

written by manyamo

-8月の主なはたらき-

- 8/1-6 中高アウトキャンプ@MBC (リーダー) ☆
- 8/7,10 夏の中高校生キャンプ@HBC (送迎)
- 8/14-16 夏季休暇
- 8/20 夏の小学高学年キャンプ@HBC (送迎)

「教会の夏」といえばキャンプです。今年は

小学生やユースをキャンプ場まで「送迎する」という奉仕も新たに加わり、8月は浜名湖・松原湖のキャンプ場を車で駆け巡っていました。お祈りに支えられ、その働きも事故なく無事に守られたことをここに報告したいと思います。

またキャンプ送迎の働きだけではなく、今年も奉仕者として松原湖の中高アウトキャンプに参加してきました！



松原湖バイブルキャンプには年間テーマ聖句が掲げられ、そのテーマ聖句を基準にプログラムキャンプが組まれます。

今年のテーマ聖句は1コリント6:20「あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから自分のからだをもって、神の栄光を現しなさい。」の箇所から「神の栄光のために」をテーマに掲げ、私が参加した中高アウトキャンプもそれを軸にキャンプが進められました。



◀アウトキャンプ場は屋内に宿舎があるベースキャンプ場とは少し離れた場所にあります。(徒歩20分ほど…) 帰りは車で戻りますが、行きは交流も兼ねて歩いてキャンプ場まで行くのが基本です。(すごく暑いです)



◀アクティビティの時間には「主の栄光」をイメージして、タイダイ染めを行いました！ 絞り方や染料のかけ方によって模様が変わってくるので不思議です。キャンパーに大人気でした！



◀アウトキャンプではほぼ毎食、火をおこして自分たちでご飯を作ります。今年は天候に恵まれ…火起こしの原料となる木の枝も乾いていたので例年よりも火おこしに苦戦せずに済みました。



◀アウトキャンプの名物はカレーコンテスト！これもテーマに因んだカレーをキャンパーに作ってもらいます。ルーや具材によって味も様々…私は審査員をしたので食べ比べができて面白かったです！



◀今回一緒に奉仕したメンバーです。不思議ですが毎年個性あふれる素敵な奉仕者が集います。今年も同労者にたくさん助けをもらいながら、無事にキャンプを終えることができました。

ここ数年は毎年中高アウトキャンプのプログラムスタッフ(キャンプのプログラムを考え、準備・進行を担う働き)として奉仕していましたが、今年はいよいよ責任の重いキャンプリーダーとしてキャンプに臨みました。



準備の段階から責任に押し潰されそうになったり、「本当にこれでいいのだろうか？」と不安になったり、キャンプ中も自分のリーダーシップの無さに何度も絶望しましたが、その度に今年のテーマ聖句であった1コリント6:20のひとつ前の箇所「あなたがたのからだは、あなたがたのうちに住まれる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたは、もはや自分自身のものではないことを、知らないのですか。」を思い出しました。

私はもはや自分のものではなく、神様のものなのだ…ということ、その神様が私のうちに今も生きて働いていて、私は自分自身ではなくその神様に期待すればいいんだ…とみことばに励まされ、6日間の働きを無事に終えて帰ってこれることができました。

聖書が示すリーダーシップは、多くの人が考えるリーダーシップ像とはちょっと違うな、と思います。一番大きく違う点は「リーダーの上にリーダーがいる」ということです。リーダーのリーダーは神様です。リーダーである神様の声をよく聞き、それをどんな形であつたとしても、しっかりと伝えていくのが主にあるリーダーの役目なのだ今回奉仕を通して改めて教えられました。

奉仕者として送り出してくださり、ありがとうございました！



written by manyamo